

みなさんからの情報をお待ちしています。
企画課までご連絡ください。 ☎22-3032

県下一周駅伝大会



2月17日から21日にかけて開催された第54回県下一周市郡対抗駅伝競走大会に錦江町から、肝属チームの監督として家長広人さん(錦江町役場勤務)、日置チームの選手として石塚正太さん(半下石自治会出身)が参加しました。

肝属チームは、チーム一丸となって健闘し総合4位でゴール。Aクラス死守を果たしました。

家長監督は「大幅に選手が入れ替わり非常に厳しい大会となりましたが、高校生・大学生と社会人の力がうまくかみ合い、明るい雰囲気の中で各選手が十分に力を発揮してくれた結果だと思っています。本大会を支えていただきました大会関係者をはじめ、ご声援くださいました多くの皆様方に感謝いたしております。」と話されました。

鹿児島たしろ会



2月17日、鹿児島市内のホテルにおいて、鹿児島たしろ会総会が行われ、多くの出身者が出席したほか、町、議会からも参加し、盛大に開催されました。

会場では、錦江町の特産品販売が行われ好評だったほか、総会では、落語家の桂竹丸師匠が講演を行いました。

総会後の親睦会では、故郷の知人たちと楽しく焼酎を酌み交わす姿が見られました。

ばれいしょ出発式



2月14日、ばれいしょ選果場において、なんぐう地区の春ばれいしょ出発式が生産者や関係者の出席のもと開催されました。

式では、神事、関係者のあいさつに続きテープカットが行われました。農協の販売計画では、なんぐう地区で面積205ha、出荷量5,000t、販売額7億5千万円、うち錦江町は面積60ha、出荷量1,400t、販売額2億1千万円の計画。ばれいしょ部会の永田部長(南大隅町根占地区)は「かごしまブランドとして安心安全なばれいしょを出荷していきたい。」と話されました。

神川校区文化祭



2月25日、神川中学校体育館において、神川校区振興会文化祭が開催されました。

文化祭は、地区住民の融和と文化継承を目的として行われているもので、今年で4回目になり、保育園生から年配の方まで、多くの個人、団体が歌や踊りを披露し観客を楽しませました。

今年は、校区役員を中心に青年団や婦人が「暴力追放」「男女共同参画」を題材とした寸劇を水戸黄門風にコミカルに演じ、楽しく分かりやすく、とても好評でした。

そのほか、神川小学校1年生が発表したまりつき歌が「なつかしい」と評判だったほか、郷土芸能の「田の神踊り」では、飴と一緒に物産館の商品券が客席に投げられ、観客にとっても喜ばれていました。

「市民救命士のいる」事業所に認定



2月22日、株式会社林建設が「市民救命士のいる事業所」に認定され、南部消防署長から認定書が交付されました。

「市民救命士のいる事業所」は、事業所の従業員はもとより、一般の方の救命を行うことを目的に、普通救命講習を修了した人が3名以上在職し、2年ごとに3名以上の人が講習を修了することが条件。林建設は、5名の社員が講習を修了し、錦江町内ではじめて認定されました。